



平成23年度 北中物語 11号—Ⅲ

平成23年7月5日発

文責:校長 中村 裕子

校長mail yuko-nakamura@staff.gsn.ed.jp

今号は3年生のみなさん・保護者様用の**特版**です。

「真」のがんばり、どこまでできるか・・・。

1学期期末テストが終了し、息つく間もなく結果が返され、喜んだりがっかりしたりする間もなく、最後の大会に向けての厳しい練習が・・・しかし、帰宅したときの気持ちは、「なんだかすっきり」なのではないでしょうか。このさわやかな気持ちは、テストや部活動への努力や辛抱のご褒美として味わうことができる「さわやかさ」なのです。そして、このさわやかな気分は、努力した者のみが得られる「充足感というさわやかさ」であり、いい加減な準備や気持ちでこのテストや部活動に臨んだ人には、実感できない気分なのです。(さわやかさも「人を選ぶ」のです)

さて、3年生のみなさん、保護者のみなさん、いよいよ7月、大きな節目の時となりました。そこで、愛すべき3年生に胸が苦しくなるような、それでいて秋が深まる頃には、「輝いていた夏」と思える「夏」にさせていただきたいので、私の思いをお伝えします。

中体連、負けて平気でいられる人はいません。しかし、その程度には大きな差があります。悔しくて無念で、何も手がつかない・・・こういう状態になれる人は、3年間努力してきた人です。(ですから、こういう無念さが後の成長につながるのです)反対に、たいして悔しくもなく、試合後笑ってすぐ遊びに出かけられる人は、たいした努力はしてきていないので、負けても平気なのです。私は、今、中体連やコンクールで負けた時の話をしていますが、日本中の中学生のほとんどが「負ける夏」なのです。(日本一になった中学生のみが勝者)だから、心から言いたい、「負ける覚悟をもって試合やコンクールに臨め」と・・・負けた時、どういう自分であるべきなのか、覚悟をするのが7月の部活動です。この時期に来て、これまでのことを悔いてもダメ(先には進めない)。自分に与えられている10数日をどういう思いで過ごすのか、どういう行動をとるのか・・・この覚悟をして行動を起こすことです。そして、大会前日には、裏面のメッセージのような気持ちに3年生全員がなってくれることを望むのみです・・・。

ただし、部活動に没頭するとは、決して、勉強はしなくていいということではありません。「勝ちたいから勉強をする」「学力を上げたいから部活動をする」のです。なぜなら、みなさんの時代は、「力が連動する時期」だからです。これまでを振り返ってみてください。勉強が順調だったときは部活動も順調だったでしょう！？部活動が順調だったときは勉強も順調だったでしょう！？勉強と部活動、一緒に力をつけてきたのです。

高等学校は、「部活動を一生懸命した生徒」を望んでいます。それは、「部活動を一生懸命やれた生徒は勉強にも努力をしていた」からなのです。「勉強と部活動を一生懸命やれた生徒は人間として有望」と判断するからなのです。私も全く同感であり、多くの中学生を見てきてこれは事実です。

さあ、部活に勉強に妥協しない夏にしよう。北中3年生、鍛錬の夏が来たぞ！！
保護者の皆様、お子さんにたくさん食べさせてください。(食べる＝甘えの根絶)

15歳の道を歩んでいるみなさんに送る応援メッセージ

夏に挑む

最後の夏を迎えた

熱い日差しの中で 汗することの大切さを学んだ
寒い風の中で 耐えることの大切さを学んだ
目を大きくあけて 前だけを見つめる
口をきりりと結んで 決意を確かめる
私は 3年間の思いのたけを この一瞬にかける

ここまでの 1分1秒が 自今の肌に入り込み
ここまでの 胸をうったすべてのものが
私を育ててくれたのだ
多くの人の声が聞こえる 君を応援している
だから 私はあきらめはしない

今 中3の夏 最後の夏



公開します！ぜひお越しを。

7月次の活動を公開しますので、ぜひ、お誘い合わせの上お越しください。

7月11日14:30～ 於：体育館「藤岡多野中体連夏季大会激励会(全校)」

7月14日13:40～15:30 於：体育館「職業人から話を聞く会(2年)」

7月26日 8:40～9:30 於：体育館「県総体出場者激励会(全校)」